

松永 寿 議員

(主な答弁者・・・次世代育成部長)

子育てに関する不安や悩みに対し、幅広く支援を

—今後も引き続き相談窓口や各種教室の開催を充実していく—

問 子育てに関する相談窓口の開設状況はどのようになっているのか。

答 市内3箇所にある子育て支援センターにおいて、月曜日から土曜日及び祝日の午前9時から午後5時まで面接相談を実施している。また、中央子育て支援センターでは、あわせて専用の電話相談とメール相談も行っている。

問 夜間の相談窓口はどのようになっているのか。

答 市内の子育て支援センターにおける夜間の相談窓口はメール相談のみとなるが、あいち小児保健医療総合センターが実施する「育児もしもしキヤッチ」では、年末年始、祝日を除く水曜日から土曜日の午後5時から午後9時までの間、電話で相談を受け付けている。またその旨を

問 給食費の無料化が全国で進む中で、予算が厳しいことを理由に幼小中の給食費を値上げすることに異議がある。本来は、市の責任で無料提供するものと考えているが、値上げによる負担増は総額でいくらか。

答 平成28年度が7億1,400万円、29年度が8億800万円、9,400万円の増となっている。

問 児童クラブは、働く保護者の大きな支援になる。利用料を3,000円から5,000円に大幅値上げすることによって、これまで保護者が持参していたおやつ負担は、どのよ

うになっているのか。

答 魅力ある給食の提供、児童クラブの事業費増のため、適正に算出していると考えている。

問 労働者派遣法の改正により、非正規労働者は、低賃金で不安定な状態である。「貧困と格差」が深刻な状況であること

答 魅力ある給食の提供、児童クラブの事業費増のため、適正に算出していると考えている。



育児おしゃべり会でふれあい遊びや育児のお話を

加藤 廣行 議員

(主な答弁者・・・福祉健康部長)

在宅介護を支援するための取り組みは

—来年度から在宅医療・介護連携支援センターを設置する—

問 地域における介護予防の取り組みに対する支援策として、どのようなことを実施しているのか。

答 今年度から新たに2つの事業を実施している。地域サロン活動等補助事業は、一定の要件を満たすサロン活動を行っている団体に対し活動費を補助するもので、地域リハビリテーション活動支援事業は、刈谷市療

問 医療から介護へ、施設から在宅へと状況になってお

答 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めており、特に在宅医療・介護連携の推進については、タブレット端末等を使用し、在宅医療と介護サービスが一体的に提供される環境を整備し、在宅生活での支援体制づくりを進めている。

問 3歳児健康診査で行われる視力検査の実施方法と受診後の対応はどのようか。

答 事前アンケートと自宅で行った結果を照らし合わせ、視力不良や屈折異常などの疑いがある場合は、健診担当医師より紹介状を発行し、医療機関への受診を促している。

問 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

答 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

問 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

答 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

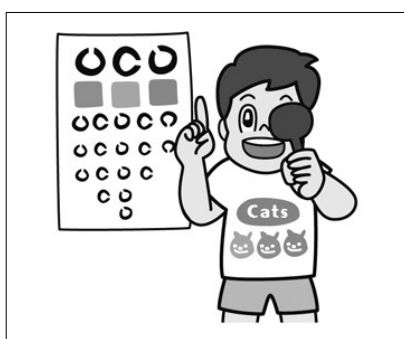
問 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

答 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

問 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

答 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他

問 3歳児健診から就学時健診まで3年間の空白がある。他



健診での視力検査の充実を

【行政視察】

優れた事業を行う自治体を視察し、魅力ある刈谷市づくりに生かします。

- ◆企画総務委員会 (10月11日～13日)
京都府亀岡市 「セーフコミュニティ推進事業について」
兵庫県姫路市 「地域防災力向上の取り組みについて」
兵庫県川西市 「PFI事業について」
◆福祉産業委員会 (10月11日～13日)
岡山県津山市 「つやま産業支援センターの取り組みについて」
山口県周南市 「もやいネットセンター推進事業について」
香川県高松市 「高齢者居場所づくり事業について」
◆建設委員会 (10月18日～20日)
千葉県柏市 「柏の葉スマートシティについて」
神奈川県逗子市 「景観まちづくりについて」
栃木県宇都宮市 「自転車の利活用の促進について」
◆市民文教委員会 (10月18日～20日)
千葉県千葉市 「教員の負担軽減について」
東京都調布市 「給食の食物アレルギー対策について」「図書館の魅力向上について」
千葉県船橋市 「歴史的資料のデジタル化について」
◆議会運営委員会 (10月25日～26日)
東京都町田市・神奈川県横須賀市 「議会改革の取り組みについて」

次回発行の2月1日号に視察報告を掲載します

平成29年12月定例会より、KATCH放送のチャンネルがCS106チャンネルから地上デジタル11チャンネルに変更になります。(今回の12月定例会のみCS106チャンネルでも放送されます)
CS 106チャンネル → 地上デジタル 11チャンネル

編集後記

かけはし

◆近年、豪雪、竜巻、豪雨などの異常気象が世界各地で相次いでいます。もともと異常気象とは、数十年あるいは数百年に一度起こる程度の現象を指すものですが、近年では当たり前の状況になっていきます。日本でもかつては無かった豪雨により、大規模な災害が起きるようになりました。台風などの大雨により河川の氾濫や土砂崩れなどの災害の恐れが強まった際、住民に一層の警戒を呼び掛けるために「観測史上最大」や「これまでに経験したことのないような大雨」といった表現が使われますが、災害で犠牲になられる方は後を絶ちません。
この表現では「備え」ができて、適切に対策をとることができないのが現状です。災害は、災害外力(極端な気象や地震、津波などの自然現象)に基づく災害を引き起こす力によるものです。地球温暖化に伴い、災害外力がどのように変化するかを知ると同時に、その知見を活かした対策、例えば、堤防や建物の強靱化を図る、あるいは、危険が避けられるような地域全体のデザインを考えるなどの様々な減災対応が今後行政には求められます。
市議会では、6月に刈谷市議会災害対応マニュアルを作成しましたが、事前の減災対応により、被害を最小限に抑えられればと思います。
(議会広報委員会)